

抗Rad51(ヒト)抗体, Sepharose™4B –コンジュゲートIgY

70-007 100 ul, 70-008 500 ul

Rad51 タンパク質は大腸菌 RecA タンパク質のホモログで、酵母からヒトまで機能的、構造的に保存され、遺伝的組換え及び組換え修復において最も重要な DNA 鎖の交換反応を触媒する機能をもつ。Rad51 はゲノム安定性の維持一般にも重要な機能を果たし、組換え反応に関与する多くのタンパク質(Rad52, Dmc1 他)や癌関連タンパク質 (BRACA1, 2, p53 他) などと複合体を形成する (1、2)。

組換え体ヒトRad51 精製タンパク質をニワトリに免疫し、卵黄から高度に(~98%) IgY(哺乳類のIgGに相当)画分を精製した。上記のIgY 10 mgを 3.5 mlのcyanogen bromideで活性化した※Sepharose™ に結合させた。本品 (~100 ul)は、約 280 ugのIgYを結合している。

用途 1. 免疫沈降法 (native 及び denatured form 共に可能)

2. 免疫共沈降によって Rad51 タンパク質と結合するタンパク質を同定する。

3. 抗体カラムとして用いて Rad51 タンパク質と結合するタンパク質を細胞抽出液から濃縮、精製する。

Rad51 タンパク質と結合するタンパク質を細胞抽出液より分離する。特異的結合を減じないで、非特異的結合を減らす条件を研究者が考える。抗体カラムから Rad51 複合体を、0.1M NaCl を含む 3.2mM HCl (pH 2.5) 200 ul で溶出させる。溶出液を 20 ul の 0.2 M リン酸ナトリウム緩衝液 (pH 8.0)、100 ul の 0.25 M リン酸ナトリウム緩衝液 (pH 6.0)を含むチューブで受けて、速やかに中和する。

保存液 : 本品は PBS (0.1M リン酸ナトリウム緩衝液、0.2M NaCl)溶液に、

保存剤としてアジ化ナトリウムを 0.09 %添加している。

保存温度 : 4°C

Data Link UniProtKB/Swiss-Prot [Q06609](http://www.uniprot.org/entry/Q06609) (RAD51_HUMAN)

References

1. Friedberg EC *et al.* *DNA Repair and Mutagenesis* 2nd ed., ASM

Press (2006)

2. Tashiro S *et al.* "Rad51 accumulation at sites of DNA damage and in postreplicative chromatin" *J Cell Biol* **150**: 283-291

(2000) PMID: [10908572](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/10908572/)

※Sepharose™4B は、GE社の商標製品です。

関連商品:

[10-001](#) Rad51 タンパク質 (human)

[10-003](#) Rad52 タンパク質 (human)

[70-001](#) 抗-Rad51 (human)抗体, rabbit antiserum

[70-005](#) 抗-Rad51 (human)抗体, ニワトリIgY

[70-009](#) 抗-Rad51 (human)抗体, affinity-purified IgY

[70-015](#) 抗-Rad52 (human) 抗体, affinity purified

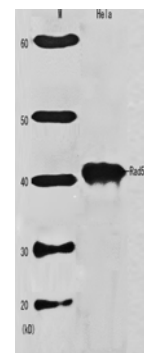


図. WB法による HeLa 細胞抽出液中の Rad51 タンパク質の同定。抗体 1/1500 希釈